

○ 審査基準（詳細） ※審査用 （案）

項 目	審査基準の説明	詳 細	配点
市民ニーズ適合性	市民の多様なニーズ（需要・要望）を捉え、それらに対応した内容となっている。	（ニーズ把握力） ・ 社会情勢や熊本市が抱える課題、現状をきちんと捉えている。	5 または 10
		（ニーズ適合性） ・ 課題解決や市民ニーズに応える目的設定になっている。	
事業計画性	目的を達成するための手段や方法が適切であり、合理的に事業を実施することができる。	（目的達成） ・ 事業実施により、目的を達成することができる内容である。	5 または 10
		（遂行力） ・ 事業計画が具体的かつ現実的であり、計画どおりに事業を遂行できる。 ・ 事業規模に対して費用が適当である。	
公益性	不特定多数の方への利益増進に寄与するなど、公益的な効果が見込める。	（効果性） ・ 事業がもたらす効果が高い。	5 または 10
		（公益性） ・ 事業効果が広く市民または熊本市に還元される。	
発展性	事業の持続性や事業効果が広く波及する見込みがあり、事業の拡大や改善等を行いながら発展していく可能性がある。	（事業の持続性） ・ 助成終了後も事業を継続し、事業効果を波及できる見込がある。	5 または 10
		（事業の発展性） ・ 助成年度だけでなく、翌年度以降の事業に対する明確なビジョンがあり、事業の発展が見込まれる。	
まちづくりへの ビジョン	本市に対する愛着と「事業を通じてどのような熊本市にしていきたいか」というビジョンを持った、よりよい熊本市づくりを目指す取り組みである。	（本市への思い） ・ 事業を通じてどんな熊本市にしたいかというビジョンがある。 ・ 本市に対する思いと事業内容が合致している。	5 または 10
		（社会貢献度） ・ 「よりよい熊本市づくり」に寄与する事業である。 ・ 他の団体や事業に良い影響を及ぼすような、本市に広まるべき事業である。	